

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 大阪府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	大阪府立病院機構	2	阪南市	阪南市民病院	20
大阪市	総合医療センター	3			
大阪市	十三市民病院	4			
堺市	堺病院	5			
岸和田市	岸和田市民病院	6			
豊中市	市立豊中病院	7			
池田市	市立池田病院	8			
吹田市	吹田市民病院	9			
泉大津市	市立病院	10			
貝塚市	貝塚病院	11			
枚方市	市立ひらかた病院	12			
八尾市	市立病院	13			
泉佐野市	泉佐野病院	14			
和泉市	市立病院	15			
箕面市	市立病院	16			
柏原市	市立柏原病院	17			
藤井寺市	市立藤井寺市民病院	18			
東大阪市	総合病院	19			

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 大阪府	
市町村・組合名			
病院名	大阪府立病院機構		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	8,837,685
決算規模(千円)	4,634,812,299
標準財政規模(千円)	1,680,868,845
財政力指数	0.75219
経常収支比率(%)	87.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.2
将来負担比率(%)	130.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	37,852			
1 経常収益	37,852			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	37,852			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	37,852			
2 経常費用	37,852			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	37,852			
(うち支払利息)	37,852	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.8
医業収支比率	-		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	大阪市		
病院名	総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,752,412
決算規模(千円)	1,962,155,183
標準財政規模(千円)	899,578,624
財政力指数	0.92
経常収支比率(%)	85.1
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	287,140			
1 経常収益	287,140			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	287,140			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	287,140			
2 経常費用	287,140			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	287,140			
(うち支払利息)	287,140	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	8,761,852			
経常収支比率	100.0		105.6	105.8
医業収支比率	-		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	97.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	大阪市		
病院名	十三市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,752,412
決算規模(千円)	1,962,155,183
標準財政規模(千円)	899,578,624
財政力指数	0.92
経常収支比率(%)	85.1
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	1.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	129,647			
1 経常収益	129,647			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	129,647			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	129,647			
2 経常費用	129,647			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	22.5	28.4
(うち委託料)	-	-	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	129,647			
(うち支払利息)	129,647	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	6,259,938			
経常収支比率	100.0		105.6	104.2
医業収支比率	-		85.1	81.4
修正医業収支比率	-		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	91.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 大阪府	
市町村・組合名	堺市		
病院名	堺病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	826,161
決算規模(千円)	461,227,663
標準財政規模(千円)	236,014,076
財政力指数	0.79
経常収支比率(%)	93.7
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	162,751			
2 経常費用	162,751			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	57.5
材料費	-	-	25.3	27.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.1
(うち委託料)	-	-	12.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	162,751			
(うち支払利息)	162,751	-	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損	-162,751			
純損	-162,751			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	88.4
修正医業収支比率	-		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	-		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	岸和田市				
病院名	岸和田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,575 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が	地	輪
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	400	63.4	66.3	76.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	63.4	66.3	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.8	11.1

設立団体の状況	
人口(人)	190,658
決算規模(千円)	85,320,446
標準財政規模(千円)	44,981,916
財政力指数	0.62
経常収支比率(%)	92.4
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	6.0
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,702,120			
1 経常収益	15,688,601			
(1) 医業収益	11,541,166			
(うち修正医業収益)	11,294,394			
入院収益	6,641,622			
外来収益	4,494,097			
診療収入計	11,135,719			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	405,447			
(うち他会計負担金)	246,772			
(2) 医業外収益	4,147,435			
(うち国・都道府県補助金)	3,156,295			
(うち他会計補助・負担金)	775,775			
(うち長期前受金戻入)	53,765			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,519			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,633,170			
2 経常費用	13,624,465			
(1) 医業費用	12,818,356			
職員給与費	6,364,005	55.1	60.2	57.5
材料費	3,590,347	31.1	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,935,528	16.8	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,588,019	13.8	11.6	12.6
減価償却費	684,626	5.9	9.0	8.1
経費	2,119,274	18.4	22.5	19.1
(うち委託料)	1,453,316	12.6	12.5	10.0
研究研修費	38,800			
資産減耗費	21,304			
(2) 医業外費用	806,109			
(うち支払利息)	181,902	1.6	1.2	1.1
(3) 特別損失	8,705			
経常損益	2,064,136			
純損益	2,068,950			
累積欠損金	1,436,929			
経常収支比率	115.2		105.6	105.7
医業収支比率	90.0		85.1	88.4
修正医業収支比率	88.1		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	6.5		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	107.6		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,889,284
1 固定資産	14,044,162
(1) 有形固定資産	13,885,971
(2) 無形固定資産	1,108
(3) 投資その他の資産	157,083
2 流動資産	4,845,122
(1) 現金及び預金	2,424,749
(2) 未収金及び未収収益	2,311,175
(3) 貸倒引当金()	920
(4) 貯蔵品	110,118
3 繰延資産	-
負債合計	12,129,988
1 固定負債	8,446,572
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,929,092
(2) その他の企業債	1,343,800
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,162,520
(7) 一ス債務	11,160
2 流動負債	3,189,436
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,436,459
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	401,219
(6) リ一ス債務	5,557
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,346,201
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	493,980
(1) 長期前受金	664,206
(2) 長期前受金収益化累計額()	170,226
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,759,296
1 資本金	8,095,685
2 剰余金	-1,336,389
(1) 資本金剰余金	100,540
(2) 利益剰余金	-1,436,929
負債・資本合計	18,889,284
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,552,036	1,022,547
資本勘定繰入	776,057	417,620
計	2,328,093	1,440,167

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	548,064	4.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	豊中市				
病院名	市立豊中病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	67,544 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	599	67.7	63.1	82.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	14	-	1.8	4.0
計	613	66.2	61.7	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.7	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	401,558	
決算規模(千円)	176,619,691	
標準財政規模(千円)	90,293,332	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	84.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,660,865			
1 経常収益	21,660,865			
(1) 医業収益	16,415,537			
(うち修正医業収益)	15,972,888			
入院収益	10,626,907			
外来収益	5,091,514			
診療収入計	15,718,421			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	697,116			
(うち他会計負担金)	442,649			
(2) 医業外収益	5,245,328			
(うち国・都道府県補助金)	3,626,554			
(うち他会計補助・負担金)	904,602			
(うち長期前受金戻入)	499,715			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,578,021			
2 経常費用	20,578,021			
(1) 医業費用	19,570,833			
職員給与費	10,198,891	62.1	60.2	54.0
材料費	4,824,839	29.4	25.3	29.9
(うち薬品費)	2,697,561	16.4	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,022,699	12.3	11.6	13.4
減価償却費	1,267,372	7.7	9.0	8.1
経費	3,219,620	19.6	22.5	19.6
(うち委託料)	1,922,986	11.7	12.5	12.7
研究研修費	36,672			
資産減耗費	23,439			
(2) 医業外費用	1,007,188			
(うち支払利息)	156,393	1.0	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	1,082,844			
純損益	1,082,844			
累積欠損金	10,926			
経常収支比率	105.3		105.6	105.8
医業収支比率	83.9		85.1	89.1
修正医業収支比率	81.6		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.2		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	6.2		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	98.7		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,228,488
1 固定資産	17,759,174
(1) 有形固定資産	17,706,124
(2) 無形固定資産	41,096
(3) 投資その他の資産	11,954
2 流動資産	10,469,314
(1) 現金及び預金	6,465,306
(2) 未収金及び未収収益	3,747,807
(3) 貸倒引当金()	11,379
(4) 貯蔵品	236,112
3 繰延資産	-
負債合計	15,773,910
1 固定負債	8,989,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,824,914
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,164,594
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,638,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,556,879
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	643,576
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,332,661
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,145,750
(1) 長期前受金	6,929,066
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,783,316
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	12,454,578
1 資本金	11,093,374
2 剰余金	1,361,204
(1) 資本金剰余金	1,372,130
(2) 利益剰余金	-10,926
負債・資本合計	28,228,488
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,296,058	1,347,251
資本勘定繰入	949,803	949,803
計	2,245,861	2,297,054

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	池田市				
病院名	市立池田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	39,005 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	364	77.2	81.6	91.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	364	77.2	81.6	91.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	11.1	10.7

設立団体の状況	
人口(人)	104,993
決算規模(千円)	42,864,482
標準財政規模(千円)	23,670,911
財政力指数	0.86
経常収支比率(%)	93.0
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,099,328			
1 経常収益	15,099,328			
(1) 医業収益	12,436,401			
(うち修正医業収益)	12,375,089			
入院収益	7,726,651			
外来収益	4,376,415			
診療収入計	12,103,066			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	333,335			
(うち他会計負担金)	61,312			
(2) 医業外収益	2,662,927			
(うち国・都道府県補助金)	2,424,058			
(うち他会計補助・負担金)	96,824			
(うち長期前受金戻入)	24,572			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,462,808			
2 経常費用	13,462,808			
(1) 医業費用	12,721,193			
職員給与費	6,371,019	51.2	60.2	60.7
材料費	3,620,120	29.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	2,233,938	18.0	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,376,334	11.1	11.6	11.7
減価償却費	801,466	6.4	9.0	9.2
経費	1,878,135	15.1	22.5	21.2
(うち委託料)	1,286,463	10.3	12.5	11.9
研究研修費	33,649			
資産減耗費	16,804			
(2) 医業外費用	741,615			
(うち支払利息)	148,397	1.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	1,636,520			
純損益	1,636,520			
累積欠損金	16,032,054			
経常収支比率	112.2		105.6	106.9
医業収支比率	97.8		85.1	85.8
修正医業収支比率	97.3		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	1.0		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	1.3		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	1.0		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	111.0		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,379,820
1 固定資産	13,149,831
(1) 有形固定資産	13,128,652
(2) 無形固定資産	21,179
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	5,229,989
(1) 現金及び預金	2,436,093
(2) 未収金及び未収収益	2,770,057
(3) 貸倒引当金()	14,713
(4) 貯蔵品	38,552
3 繰延資産	-
負債合計	10,632,052
1 固定負債	6,850,526
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,208,160
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,533,169
(7) 一ス債務	109,197
2 流動負債	3,499,467
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,308,641
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	375,234
(6) リ一ス債務	22,306
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,718,624
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	282,059
(1) 長期前受金	406,748
(2) 長期前受金収益化累計額()	124,689
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,747,768
1 資本金	23,768,442
2 剰余金	-16,020,674
(1) 資本金剰余金	11,380
(2) 利益剰余金	-16,032,054
負債・資本合計	18,379,820
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	546,972	158,136
資本勘定繰入	829,864	829,864
計	1,376,836	988,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	吹田市		
病院名	吹田市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	385,567
決算規模(千円)	151,237,056
標準財政規模(千円)	79,439,365
財政力指数	0.97
経常収支比率(%)	93.9
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	126,991			
1 経常収益	126,991			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	126,991			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	126,991			
2 経常費用	126,991			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	57.5
材料費	-	-	25.3	27.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.1
(うち委託料)	-	-	12.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	126,991			
(うち支払利息)	126,991	-	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	88.4
修正医業収支比率	-		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	泉大津市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,313 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	230	52.1	49.9	63.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	230	52.1	49.9	63.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	10.3	10.2

設立団体の状況	
人口(人)	74,412
決算規模(千円)	34,708,413
標準財政規模(千円)	17,908,642
財政力指数	0.72
経常収支比率(%)	91.0
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.5
将来負担比率(%)	14.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,469,402			
1 経常収益	5,847,779			
(1) 医業収益	4,415,945			
(うち修正医業収益)	4,225,217			
入院収益	2,255,248			
外来収益	1,611,669			
診療収入計	3,866,917			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	549,028			
(うち他会計負担金)	190,728			
(2) 医業外収益	1,431,834			
(うち国・都道府県補助金)	907,966			
(うち他会計補助・負担金)	459,868			
(うち長期前受金戻入)	31,304			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	621,623			
(うち他会計繰入金)	621,623			
総費用	5,937,243			
2 経常費用	5,937,243			
(1) 医業費用	5,660,835			
職員給与費	3,224,336	73.0	60.2	64.0
材料費	929,842	21.1	25.3	19.9
(うち薬品費)	526,537	11.9	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	402,923	9.1	11.6	9.6
減価償却費	293,242	6.6	9.0	9.9
経費	1,204,996	27.3	22.5	28.4
(うち委託料)	634,586	14.4	12.5	13.7
研究研修費	7,447			
資産減耗費	972			
(2) 医業外費用	276,408			
(うち支払利息)	63,546	1.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-89,464			
純損益	532,159			
累積欠損金	7,769,538			
経常収支比率	98.5		105.6	104.2
医業収支比率	78.0		85.1	81.4
修正医業収支比率	74.6		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	19.7		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	87.5		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,532,162
1 固定資産	6,456,962
(1) 有形固定資産	6,427,024
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	29,938
2 流動資産	1,075,200
(1) 現金及び預金	163,840
(2) 未収金及び未収収益	896,643
(3) 貸倒引当金()	69
(4) 貯蔵品	14,593
3 繰延資産	-
負債合計	6,165,763
1 固定負債	4,091,655
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,310,105
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	450,000
(6) 引当金	1,283,474
(7) 一時的借入金	48,076
2 流動負債	1,815,430
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	457,573
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	50,000
(5) 引当金	219,319
(6) リース債務	26,970
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	433,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	258,678
(1) 長期前受金	386,692
(2) 長期前受金収益化累計額()	128,014
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,366,399
1 資本金	9,121,074
2 剰余金	-7,754,675
(1) 資本剰余金	14,863
(2) 利益剰余金	-7,769,538
負債・資本合計	7,532,162
不良債務	282,657
実質資金不足額	282,657
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	650,596	1,272,219
資本勘定繰入	327,781	327,781
計	978,377	1,600,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	282,657	6.4
令和2年度	872,511	21.0
令和元年度	1,576,501	31.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	175.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	282,657
地財法上の資金不足比率(%)	6.4

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名
				大阪府
市町村・組合名	貝塚市			
病院名	貝塚病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	21,079 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	18	指定病院の状況	救臨	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	200床以上～300床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	249	66.9	62.1	71.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	249	66.9	62.1	71.5
平均在院日数(一般病床のみ)		8.4	8.7	8.1

設立団体の状況		
人口(人)	84,443	
決算規模(千円)	42,894,217	
標準財政規模(千円)	19,543,518	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	89.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	10.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,451,285			
1 経常収益	8,278,389			
(1) 医業収益	6,502,081			
(うち修正医業収益)	6,306,381			
入院収益	3,710,537			
外来収益	2,440,911			
診療収入計	6,151,448			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	350,633			
(うち他会計負担金)	195,700			
(2) 医業外収益	1,776,308			
(うち国・都道府県補助金)	1,049,642			
(うち他会計補助・負担金)	409,793			
(うち長期前受金戻入)	260,276			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	172,896			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,548,363			
2 経常費用	7,529,813			
(1) 医業費用	7,145,510			
職員給与費	4,026,588	61.9	60.2	64.0
材料費	1,567,544	24.1	25.3	19.9
(うち薬品費)	880,655	13.5	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	649,594	10.0	11.6	9.6
減価償却費	472,956	7.3	9.0	9.9
経費	1,047,060	16.1	22.5	28.4
(うち委託料)	630,845	9.7	12.5	13.7
研究研修費	12,092			
資産減耗費	19,270			
(2) 医業外費用	384,303			
(うち支払利息)	80,193	1.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	18,550			
損益	748,576			
純損益	902,922			
累積欠損金	1,950,126			
経常収支比率	109.9		105.6	104.2
医業収支比率	91.0		85.1	81.4
修正医業収支比率	88.3		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	7.2		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	101.9		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,992,809
1 固定資産	5,171,515
(1) 有形固定資産	5,166,521
(2) 無形固定資産	3,344
(3) 投資その他の資産	1,650
2 流動資産	1,821,294
(1) 現金及び預金	457,160
(2) 未収金及び未収収益	1,359,497
(3) 貸倒引当金()	37,849
(4) 貯蔵品	42,277
3 繰延資産	-
負債合計	6,805,095
1 固定負債	4,596,725
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,249,540
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	30,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,297,813
(7) 一ス債務	19,372
2 流動負債	1,901,523
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	763,182
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	10,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	220,437
(6) リ一ス債務	31,533
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	853,187
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	306,847
(1) 長期前受金	3,717,684
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,410,837
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	187,714
1 資本金	1,328,761
2 剰余金	-1,141,047
(1) 資本剰余金	809,079
(2) 利益剰余金	-1,950,126
負債・資本合計	6,992,809
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	746,279	605,493
資本勘定繰入	374,682	374,907
計	1,120,961	980,400

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	71,207	1.2
令和元年度	377,898	5.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		枚方市			
病院名		市立ひらかた病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド末訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,824 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨感地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	327	72.3	69.8	78.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	85.8	56.2	5.5
計	335	72.7	69.4	76.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.3	9.5

設立団体の状況	
人口(人)	397,289
決算規模(千円)	162,745,824
標準財政規模(千円)	82,493,466
財政力指数	0.78
経常収支比率(%)	92.3
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,200,777			
1 経常収益	12,194,345			
(1) 医業収益	9,078,757			
(うち修正医業収益)	8,696,877			
入院収益	5,703,964			
外来収益	2,644,647			
診療収入計	8,348,611			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	730,146			
(うち他会計負担金)	381,880			
(2) 医業外収益	3,115,588			
(うち国・都道府県補助金)	1,775,168			
(うち他会計補助・負担金)	735,032			
(うち長期前受金戻入)	428,432			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,432			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,614,228			
2 経常費用	10,613,798			
(1) 医業費用	10,107,001			
職員給与費	5,213,236	57.4	60.2	60.7
材料費	1,914,912	21.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	950,431	10.5	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	958,269	10.6	11.6	11.7
減価償却費	856,133	9.4	9.0	9.2
経費	2,089,777	23.0	22.5	21.2
(うち委託料)	1,236,989	13.6	12.5	11.9
研究研修費	15,970			
資産減耗費	16,973			
(2) 医業外費用	506,797			
(うち支払利息)	112,089	1.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	430			
損益	1,580,547			
純損益	1,586,549			
累積欠損金	-			
経常収支比率	114.9		105.6	106.9
医業収支比率	89.8		85.1	85.8
修正医業収支比率	86.0		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	9.2		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	104.4		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,872,432
1 固定資産	9,820,521
(1) 有形固定資産	9,793,642
(2) 無形固定資産	7,150
(3) 投資その他の資産	19,729
2 流動資産	6,051,911
(1) 現金及び預金	3,971,575
(2) 未収金及び未収収益	1,940,174
(3) 貸倒引当金()	541
(4) 貯蔵品	140,703
3 繰延資産	-
負債合計	13,423,762
1 固定負債	10,160,004
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,586,446
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,571,287
(7) 一ス債務	2,271
2 流動負債	2,122,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	837,055
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	321,641
(6) リ一ス債務	1,434
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	871,041
(9) 前受金及び前受収益	12,423
3 繰延収益	1,141,478
(1) 長期前受金	2,782,380
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,640,902
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,448,670
1 資本金	10,299
2 剰余金	2,438,371
(1) 資本剰余金	57,610
(2) 利益剰余金	2,380,761
負債・資本合計	15,872,432
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,116,912	1,116,912
資本勘定繰入	395,586	395,586
計	1,512,498	1,512,498

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	八尾市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,470 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	380	69.5	75.1	89.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	69.5	75.1	89.3
平均在院日数(一般病床のみ)		8.7	9.5	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	264,642	
決算規模(千円)	121,856,292	
標準財政規模(千円)	60,941,803	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,005,960			
1 経常収益	15,894,955			
(1) 医業収益	12,261,506			
(うち修正医業収益)	11,983,646			
入院収益	7,596,666			
外来収益	4,053,443			
診療収入計	11,650,109			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	611,397			
(うち他会計負担金)	277,860			
(2) 医業外収益	3,633,449			
(うち国・都道府県補助金)	2,218,143			
(うち他会計補助・負担金)	796,859			
(うち長期前受金戻入)	435,442			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	111,005			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,009,039			
2 経常費用	14,988,049			
(1) 医業費用	14,069,996			
職員給与費	7,026,163	57.3	60.2	60.7
材料費	3,330,555	27.2	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,943,134	15.8	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,387,421	11.3	11.6	11.7
減価償却費	974,897	8.0	9.0	9.2
経費	2,685,147	21.9	22.5	21.2
(うち委託料)	2,212,515	18.0	12.5	11.9
研究研修費	26,391			
資産減耗費	26,843			
(2) 医業外費用	918,053			
(うち支払利息)	180,327	1.5	1.2	1.3
(3) 特別損失	20,990			
損益	906,906			
純損益	996,921			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.1		105.6	106.9
医業収支比率	87.1		85.1	85.8
修正医業収支比率	85.2		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	6.7		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	98.9		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,253,979
1 固定資産	13,944,418
(1) 有形固定資産	13,857,900
(2) 無形固定資産	142
(3) 投資その他の資産	86,376
2 流動資産	9,309,561
(1) 現金及び預金	6,753,440
(2) 未収金及び未収収益	2,471,822
(3) 貸倒引当金()	7,103
(4) 貯蔵品	82,606
3 繰延資産	-
負債合計	18,704,208
1 固定負債	12,795,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,498,572
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,190,676
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,197,026
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,333,245
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	578,435
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,243,394
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,711,331
(1) 長期前受金	6,014,044
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,302,713
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,549,771
1 資本金	2,697,286
2 剰余金	1,852,485
(1) 資本金剰余金	18,025
(2) 利益剰余金	1,834,460
負債・資本合計	23,253,979
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,074,719	1,074,719
資本勘定繰入	809,147	809,147
計	1,883,866	1,883,866

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	泉佐野市		
病院名	泉佐野病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	100,131
決算規模(千円)	70,068,150
標準財政規模(千円)	24,512,912
財政力指数	0.93
経常収支比率(%)	99.5
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	156,005			
1 経常収益	156,005			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	156,005			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	156,005			
2 経常費用	156,005			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	60.7
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	11.7
減価償却費	-	-	9.0	9.2
経費	-	-	22.5	21.2
(うち委託料)	-	-	12.5	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	156,005			
(うち支払利息)	156,005	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	106.9
医業収支比率	-		85.1	85.8
修正医業収支比率	-		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	和泉市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	33,351 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が地輪
許可公営企業	許可	看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	307	92.8	96.2	100.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	307	92.8	96.2	100.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.8	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	184,495	
決算規模(千円)	75,426,109	
標準財政規模(千円)	37,412,788	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	652,553			
1 経常収益	652,553			
(1) 医業収益	218,500			
(うち修正医業収益)	23,537			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	218,500			
(うち他会計負担金)	194,963			
(2) 医業外収益	434,053			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	65,172			
(うち長期前受金戻入)	283,547			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,229,361			
2 経常費用	1,229,229			
(1) 医業費用	1,099,819			
職員給与費	-	-	60.2	60.7
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	11.7
減価償却費	852,360	390.1	9.0	9.2
経費	247,459	113.3	22.5	21.2
(うち委託料)	24,653	11.3	12.5	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	129,410			
(うち支払利息)	71,768	32.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	132			
損益				
経常				
純損益	-576,676			
累積欠損金	13,402,653			
経常収支比率	53.1		105.6	106.9
医業収支比率	19.9		85.1	85.8
修正医業収支比率	2.1		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	39.9		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	119.1		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	39.9		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	31.9		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,688,373
1 固定資産	12,588,810
(1) 有形固定資産	12,584,369
(2) 無形固定資産	4,441
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	99,563
(1) 現金及び預金	34,642
(2) 未収金及び未収収益	64,921
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	14,971,766
1 固定負債	13,438,218
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,815,168
(2) その他の企業債	623,050
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,261,354
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,110,266
(2) その他の企業債	51,525
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	96,904
(9) 前受金及び前受収益	658
3 繰延収益	272,194
(1) 長期前受金	1,163,481
(2) 長期前受金収益化累計額()	891,287
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,283,393
1 資本金	8,894,782
2 剰余金	-11,178,175
(1) 資本金剰余金	2,224,478
(2) 利益剰余金	-13,402,653
負債・資本合計	12,688,373
不良債務	51,525
実質資金不足額	51,525
資本不足額()	2,283,393
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,011,199
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	254,197	260,135
資本勘定繰入	447,584	477,517
計	701,781	737,652

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	51,525	23.6
令和2年度	28,870	13.0
令和元年度	909	0.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6133.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	674,575
地財法上の資金不足比率(%)	308.7

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	箕面市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,067 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	317	75.3	71.0	86.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	317	75.3	71.0	86.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	11.5	11.3

設立団体の状況	
人口(人)	136,868
決算規模(千円)	77,209,335
標準財政規模(千円)	29,727,094
財政力指数	0.93
経常収支比率(%)	91.5
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	2.7
将来負担比率(%)	13.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,679,386			
1 経常収益	10,679,386			
(1) 医業収益	8,321,534			
(うち修正医業収益)	8,310,159			
入院収益	5,493,289			
外来収益	2,615,444			
診療収入計	8,108,733			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	212,801			
(うち他会計負担金)	11,375			
(2) 医業外収益	2,357,852			
(うち国・都道府県補助金)	2,146,219			
(うち他会計補助・負担金)	79,906			
(うち長期前受金戻入)	58,990			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,132,292			
2 経常費用	10,129,133			
(1) 医業費用	9,777,506			
職員給与費	5,663,985	68.1	60.2	60.7
材料費	1,977,022	23.8	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,034,474	12.4	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	885,792	10.6	11.6	11.7
減価償却費	591,613	7.1	9.0	9.2
経費	1,520,289	18.3	22.5	21.2
(うち委託料)	836,724	10.1	12.5	11.9
研究研修費	16,530			
資産減耗費	8,067			
(2) 医業外費用	351,627			
(うち支払利息)	5,095	0.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	3,159			
損益				
経常	550,253			
純	547,094			
累積欠損金	11,614,734			
経常収支比率	105.4		105.6	106.9
医業収支比率	85.1		85.1	85.8
修正医業収支比率	85.0		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	0.9		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	1.1		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	0.9		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	104.5		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,992,218
1 固定資産	8,751,333
(1) 有形固定資産	8,717,423
(2) 無形固定資産	1,186
(3) 投資その他の資産	32,724
2 流動資産	3,240,885
(1) 現金及び預金	1,306,565
(2) 未収金及び未収収益	1,887,567
(3) 貸倒引当金()	7,848
(4) 貯蔵品	54,601
3 繰延資産	-
負債合計	6,032,557
1 固定負債	3,815,055
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	444,041
(2) その他の企業債	402,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,300,000
(6) 引当金	1,627,262
(7) 一ス債務	41,752
2 流動負債	1,433,592
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,440
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	378,518
(6) リ一ス債務	23,967
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	824,336
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	783,910
(1) 長期前受金	1,223,914
(2) 長期前受金収益化累計額()	440,004
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,959,661
1 資本金	16,162,929
2 剰余金	-10,203,268
(1) 資本金剰余金	1,406,466
(2) 利益剰余金	-11,609,734
負債・資本合計	11,992,218
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	273,011	91,281
資本勘定繰入	149,471	1,917
計	422,482	93,198

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	139.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	柏原市				
病院名	市立柏原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,350 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	220	55.0	62.3	78.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	55.0	62.3	78.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	12.9	14.0

設立団体の状況	
人口(人)	68,775
決算規模(千円)	29,562,106
標準財政規模(千円)	16,143,684
財政力指数	0.61
経常収支比率(%)	91.4
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	3.3
将来負担比率(%)	14.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,968,007			
1 経常収益	6,955,144			
(1) 医業収益	3,817,136			
(うち修正医業収益)	3,724,806			
入院収益	2,483,581			
外来収益	1,015,296			
診療収入計	3,498,877			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	318,259			
(うち他会計負担金)	92,330			
(2) 医業外収益	3,138,008			
(うち国・都道府県補助金)	2,714,010			
(うち他会計補助・負担金)	203,065			
(うち長期前受金戻入)	149,540			
(うち資本費繰入収益)	47,396			
(3) 特別利益	12,863			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,860,560			
2 経常費用	4,860,560			
(1) 医業費用	4,618,867			
職員給与費	2,774,330	72.7	60.2	64.0
材料費	672,807	17.6	25.3	19.9
(うち薬品費)	350,644	9.2	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	294,136	7.7	11.6	9.6
減価償却費	313,397	8.2	9.0	9.9
経費	848,884	22.2	22.5	28.4
(うち委託料)	612,926	16.1	12.5	13.7
研究研修費	5,181			
資産減耗費	4,268			
(2) 医業外費用	241,693			
(うち支払利息)	66,766	1.7	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	143.1		105.6	104.2
医業収支比率	82.6		85.1	81.4
修正医業収支比率	80.6		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	4.2		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	4.2		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	137.0		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,256,965
1 固定資産	5,204,370
(1) 有形固定資産	5,105,893
(2) 無形固定資産	5,113
(3) 投資その他の資産	93,364
2 流動資産	3,052,595
(1) 現金及び預金	1,820,368
(2) 未収金及び未収収益	1,232,906
(3) 貸倒引当金()	16,458
(4) 貯蔵品	15,779
3 繰延資産	-
負債合計	6,184,989
1 固定負債	3,985,112
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,139,694
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	845,418
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,157,769
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	392,746
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,921
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	397,174
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,042,108
(1) 長期前受金	6,620,944
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,578,836
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,071,976
1 資本金	1,207,261
2 剰余金	864,715
(1) 資本金剰余金	131,948
(2) 利益剰余金	732,767
負債・資本合計	8,256,965
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	316,352	295,395
資本勘定繰入	218,073	230,073
計	534,425	525,468

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	640,814	15.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		藤井寺市			
病院名		市立藤井寺市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,423 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	9	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	98	45.6	53.2	70.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	45.6	53.2	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	9.5	11.0

設立団体の状況		
人口(人)	63,688	
決算規模(千円)	26,006,336	
標準財政規模(千円)	14,981,011	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	94.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.9
	将来負担比率(%)	54.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,306,879			
1 経常収益	2,306,879			
(1) 医業収益	1,797,670			
(うち修正医業収益)	1,797,670			
入院収益	719,153			
外来収益	1,007,698			
診療収入計	1,726,851			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	70,819			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	509,209			
(うち国・都道府県補助金)	391,635			
(うち他会計補助・負担金)	92,059			
(うち長期前受金戻入)	20,337			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,236,852			
2 経常費用	2,236,852			
(1) 医業費用	2,141,751			
職員給与費	1,163,605	64.7	60.2	76.8
材料費	623,583	34.7	25.3	14.4
(うち薬品費)	510,690	28.4	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	101,604	5.7	11.6	6.0
減価償却費	125,459	7.0	9.0	11.4
経費	220,475	12.3	22.5	31.5
(うち委託料)	149,659	8.3	12.5	14.5
研究研修費	2,771			
資産減耗費	5,858			
(2) 医業外費用	95,101			
(うち支払利息)	11,618	0.6	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	70,027			
純損益	70,027			
累積欠損金	2,146,371			
経常収支比率	103.1		105.6	103.4
医業収支比率	83.9		85.1	74.3
修正医業収支比率	83.9		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.0		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	5.1		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	4.0		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	99.0		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,472,885
1 固定資産	1,191,596
(1) 有形固定資産	1,191,027
(2) 無形固定資産	166
(3) 投資その他の資産	403
2 流動資産	1,281,289
(1) 現金及び預金	854,315
(2) 未収金及び未収収益	411,422
(3) 貸倒引当金()	2,221
(4) 貯蔵品	17,769
3 繰延資産	-
負債合計	1,792,515
1 固定負債	1,303,362
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	652,541
(2) その他の企業債	171,592
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	479,229
(7) 一 負債	-
2 流動負債	407,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	97,640
(2) その他の企業債	21,308
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	122,629
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	165,670
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	81,906
(1) 長期前受金	114,404
(2) 長期前受金収益化累計額()	32,498
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	680,370
1 資本金	2,765,013
2 剰余金	-2,084,643
(1) 資本金剰余金	61,728
(2) 利益剰余金	-2,146,371
負債・資本合計	2,472,885
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	92,059	92,059
資本勘定繰入	51,468	51,468
計	143,527	143,527

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	119.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	東大阪市		
病院名	総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	493,940
決算規模(千円)	229,635,436
標準財政規模(千円)	115,592,720
財政力指数	0.75
経常収支比率(%)	93.1
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	6.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	140,858			
1 経常収益	140,858			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	140,858			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	140,858			
2 経常費用	140,858			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	140,858			
(うち支払利息)	140,858	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.8
医業収支比率	-		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	97.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	阪南市				
病院名	阪南市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,965 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	185	78.6	76.1	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	78.6	76.1	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	13.2	14.5

設立団体の状況	
人口(人)	51,254
決算規模(千円)	21,119,573
標準財政規模(千円)	11,620,178
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	94.2
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.4
将来負担比率(%)	43.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	339,474			
1 経常収益	339,474			
(1) 医業収益	9,686			
(うち修正医業収益)	9,686			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	9,686			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	329,788			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	237,308			
(うち長期前受金戻入)	4,556			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	357,358			
2 経常費用	357,358			
(1) 医業費用	318,198			
職員給与費	-	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	87,189	900.2	9.0	10.4
経費	230,502	2379.7	22.5	28.7
(うち委託料)	10,029	103.5	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	507			
(2) 医業外費用	39,160			
(うち支払利息)	35,676	368.3	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-17,884			
純損失	-17,884			
累積欠損金	4,100,223			
経常収支比率	95.0		105.6	105.7
医業収支比率	3.0		85.1	80.6
修正医業収支比率	3.0		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	69.9		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	2450.0		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	69.9		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	28.6		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,444,737
1 固定資産	2,270,014
(1) 有形固定資産	2,268,281
(2) 無形固定資産	1,733
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	174,723
(1) 現金及び預金	173,588
(2) 未収金及び未収収益	1,135
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,425,213
1 固定負債	2,222,839
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,222,839
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 借 入 債 務	-
2 流動負債	115,993
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	110,777
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ 一 借 入 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,216
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	86,381
(1) 長期前受金	322,679
(2) 長期前受金収益化累計額()	236,298
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	19,524
1 資 本 金	2,853,361
2 剰 余 金	-2,833,837
(1) 資 本 剰 余 金	1,266,386
(2) 利 益 剰 余 金	-4,100,223
負債・資本合計	2,444,737
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	53,240	237,308
資本勘定繰入	46,588	46,588
計	99,828	283,896

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42331.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。